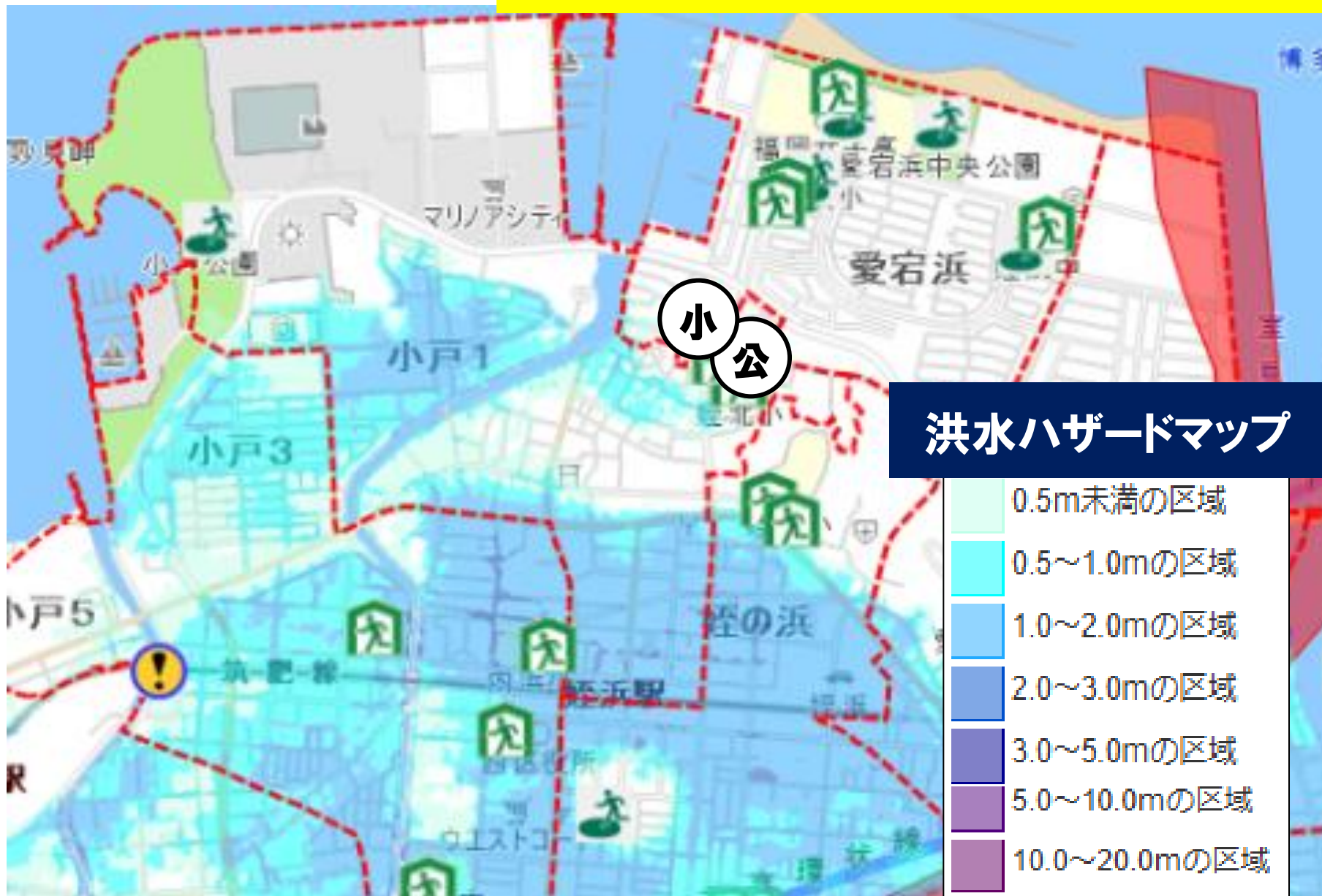


災害

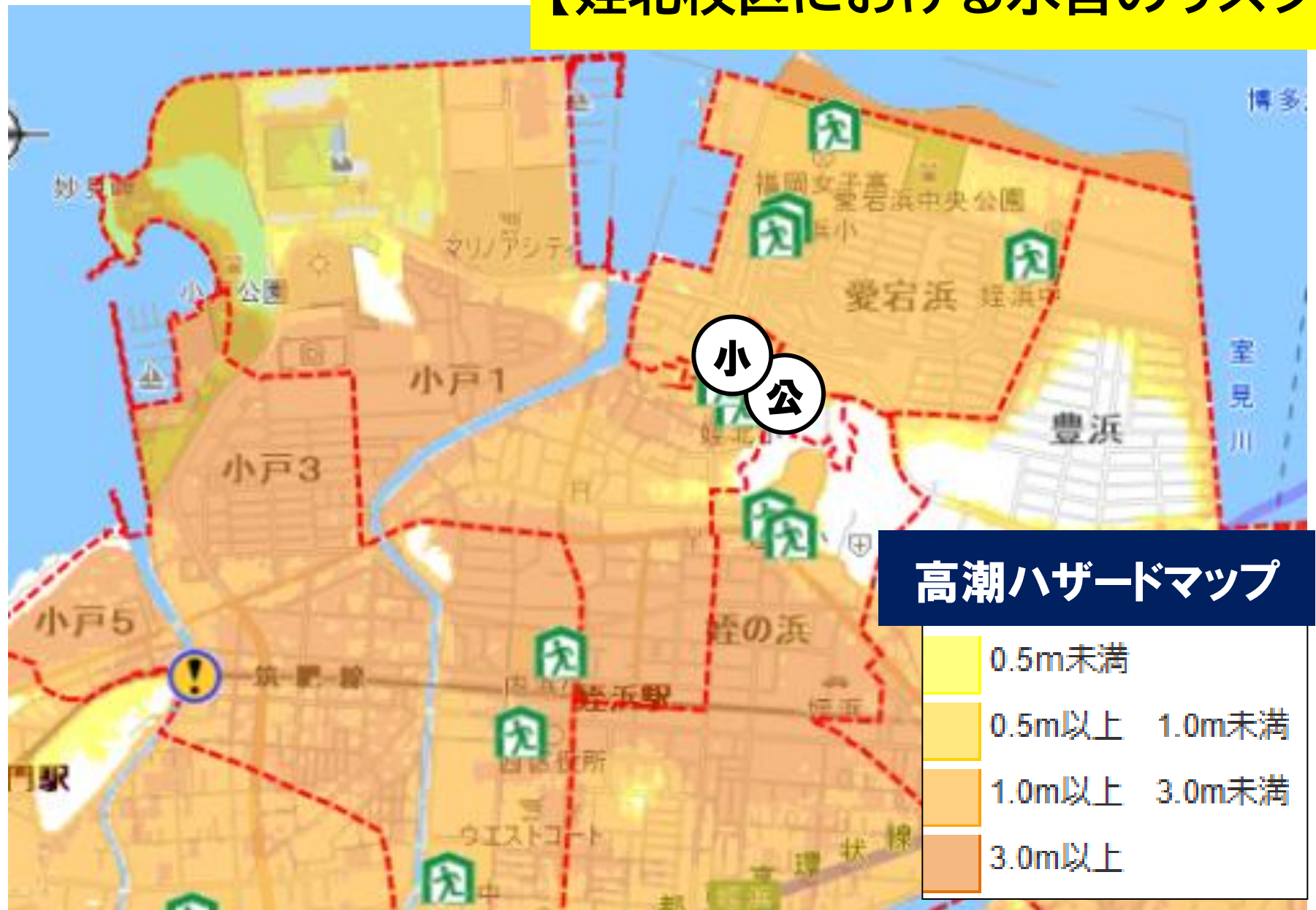
自分が住んでいる地域の
「災害」のリスクについて
知っていますか？

※資料提供：社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会 西区社協事務所

【姪北校区における水害のリスク】



【姪北校区における水害のリスク】



【姪北校区における地震のリスク】

警固断層の30年以内の地震発生確率＝最大6%

※M7.2 震度6強 市内で死者1,000人以上、ケガ人22,000人以上想定

警固断層の30年以内の地震発生確率＝最大6%

※M7.2 震度6強 市内で死者1,000人以上、ケガ人22,000人以上想定



	5弱
	5強
	6弱
	6 強

※マンションは上層階ほど揺れが強くなる

以上のリスクマップは

福岡市総合ハザードマップで

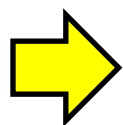
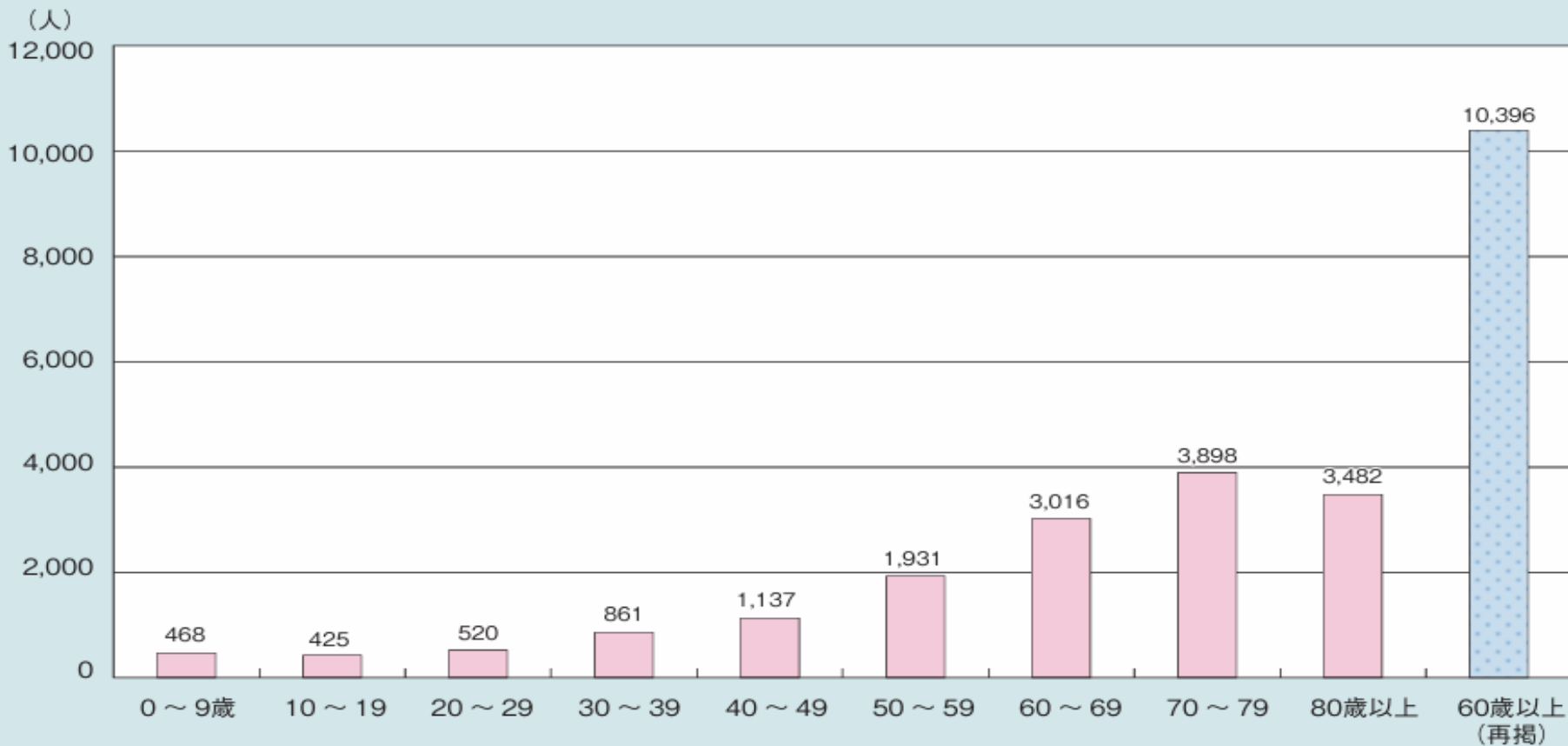
ご覧になれます

突然ですがクイズです！



Q. 東日本大震災の犠牲者のうち
60歳以上の割合は？

正解は **66.1%** ※平成25年版高齢社会白書



高齢者は、逃げ遅れたり
支援の手が届く前に亡くなるリスクが高い



●東日本大震災における障がい者の死亡率

岩手県・宮城県・福島県では ※NHK調べ(2012.9.5)

- ・全体の死亡率 : 0.78%
 - ・障がい者の死亡率 : 1.43%
- 約2倍

【参考】最も死者が多かった宮城県では、
全体の死亡率に対し、障がい者の死亡率が4倍以上

※宮城県「東日本大震災に伴う被害状況について」(2012.3.29)より

➡ 障がい者も、災害時には逃げ遅れたり
亡くなるリスクが高い



福岡市全域で被害が発生するような
大規模な災害の場合、自分達の住む校区へ
公的な支援がすぐには来られない可能性が高い
※道路など交通アクセスが寸断される場合も



災害が発生した時は、
地域やご近所での安否確認や助け合いが
命を守ることにつながる



【事例】



阪神淡路大震災

自力で脱出した人や家族に助けられた人

⇒ **67% (自助)**

近隣や友人に助けられた人

⇒ **31% (共助)**

救助隊に助けられた人

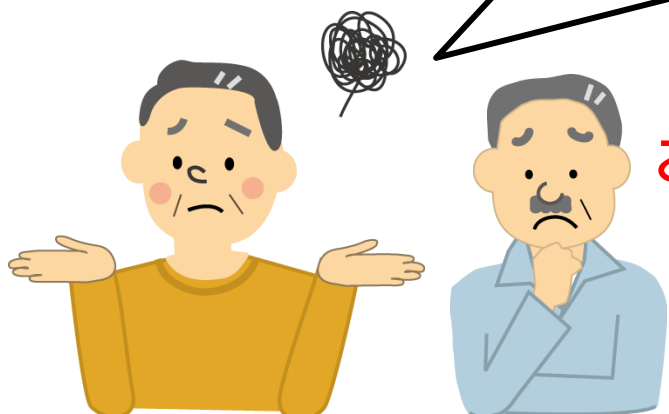
⇒ **2% (公助)**

いざ災害が起こった時…

日頃からの備えやつながりがないと…

助けが必要な人の
顔もわからない…
誰が声かけに行くかも
決めていない…

知らない人が突然
来ても、安心して
逃げられない



地域のボランティア

お互いにもう動いてよいか
わからず混乱する…



高齢者、要支援者など

【事例】

福岡県西方沖地震



福岡市西区の玄海島では、約7割の家屋が全半壊となる大きな被害があったが、元々、住民同士の顔の見える関係ができていたことや、地域での声かけ・避難が迅速に行えたことにより、死者はなく、火事などの二次災害も防ぐことができた。

災害時に地域で助け合うには



日頃(平常時)から
誰が誰を支援するかを検討し、
顔の見える関係づくりを
しておくことが効果的！